

NHKの会長・経営委員の暴言問題を考える

「皆さまのNHK」でなく、「安倍政権のNHK」に変質！？

舛井勝人NHK会長は就任記者会見で「慰安婦問題はどこの国にもあった」「政府が右と言うものを左というわけにはいかない」と語りました（後に全文取り消しましたが、取り消してすむのでしょうか）。またその会長を選ぶ経営委員に新しく就任した百田尚樹氏（作家）は、都知事選の元航空幕僚長への応援演説で「南京虐殺はなかった」「アジア侵略は大嘘」と語り、同じく長谷川三千子委員（埼玉大学名誉教授）はある保守派議員グループの総会の演説で「マスコミのマインドコントロールに今も多くの国民や自民党員が洗脳されている」などの暴言を吐いています。放送法の規定からするとこういった会長、経営委員は明らかに罷免されてしかるべきですが、安倍政権は“個人的発言”として、そ知らぬ顔です。NHKは安倍政権のしもべではなく、国民・視聴者のものです。今回のフリートークではあらためてNHKの元制作者などの関係者に登場いただき、そのあり方を問い直します。

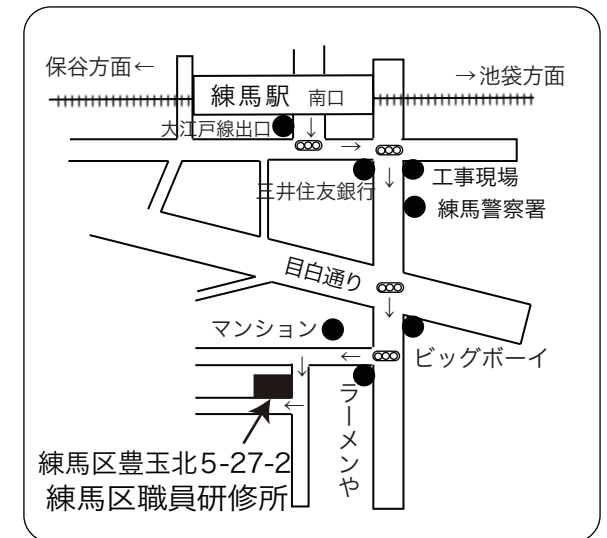
パネル討論

- ① 「テレビ各局は秘密保護法をどう報道したのか？」
小滝一志（「放送を語る会」事務局長、元NHKディレクター）
- ② 「“慰安婦”番組改ざん事件から暴言問題の経緯と背景」
永田浩三（武蔵大学教授、元NHKプロデューサー）
- ③ 「NHKと放送法～受信料は税金か？」
砂川浩慶（メディア総研所長。立教大学准教授）

日時 2014年3月16日（日）午後2時～4時半 参加費 500円
会場 練馬区職員研修所 2階研修室 学生無料

西武池袋線および西武有楽町「練馬駅」下車、南口から徒歩8分。 都営大江戸線「練馬駅」下車、徒歩8分。

練馬区職員研修所略図



協賛 日本ジャーナリスト会議・放送を語る会・メディア総合研究所

練馬・文化の会 田場 電話 03(3991)9165 森田彦一 (3951)4276